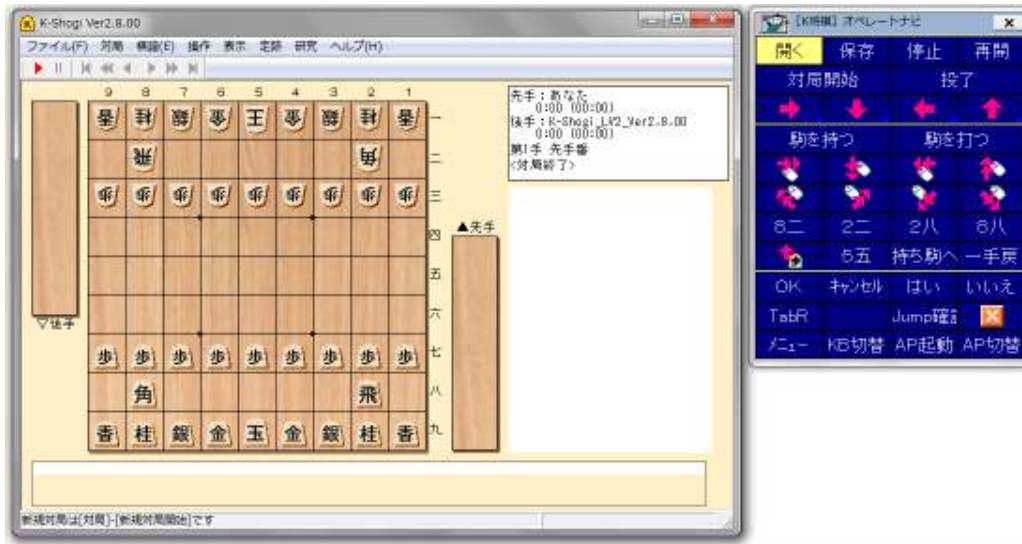


# K-Shogi 対応「K将棋」キーボードの説明

作成日 2012.1.25  
最終更新日 2012.2.11  
作成者 鈴木信幸  
オペナビ対応バージョン

WindowsVista オペレートナビ EX(Ver3.0)  
Windows7 オペレートナビ TT



## キーボードの概要

フリーで出されている将棋ソフト「K-Shogi」に対応したキーボード。将棋盤の升に合わせたマウス移動用のキーを用意。

## 1. 将棋ソフトの準備

- (1) K-Shogi をインターネットからダウンロードし、デスクトップにファイルを保存する。

[http://www.geocities.jp/studio\\_k32/kshogi.html](http://www.geocities.jp/studio_k32/kshogi.html)

**K** 対局将棋ソフト K-Shogi  
◆◆◆ ダウンロード ◆◆◆ Ver2.8.00 (2010/07/22版) フリーソフト  
ファイルはzip形式で圧縮されています。Lhasa等の解凍ツールを使用して解凍してください。

**【特徴】**

- ・コンピュータとの対局の他、コンピュータ同士の対局を見ることも可能です。
- ・棋譜解析機能があります。
- ・詰め将棋解答機能や次の一手解答機能があります。
- ・KIF形式でクリップボードから棋譜の読み込み・貼り付けができますので、他のソフトと棋譜のやり取りが可能です。
- ・コンピュータの読み筋を表示したり、棋譜に残すことができます。
- ・TCP/IP通信(CSA, 拡張モード)対応
- ・KIFファイルから定跡が登録できます
- ・CSA将棋インターフェース(SIKOU.DLL)に対応します。
- ・評価のグラフ表示機能があります。
- ・マルチコア・マルチCPUの場合、少し強くなります。

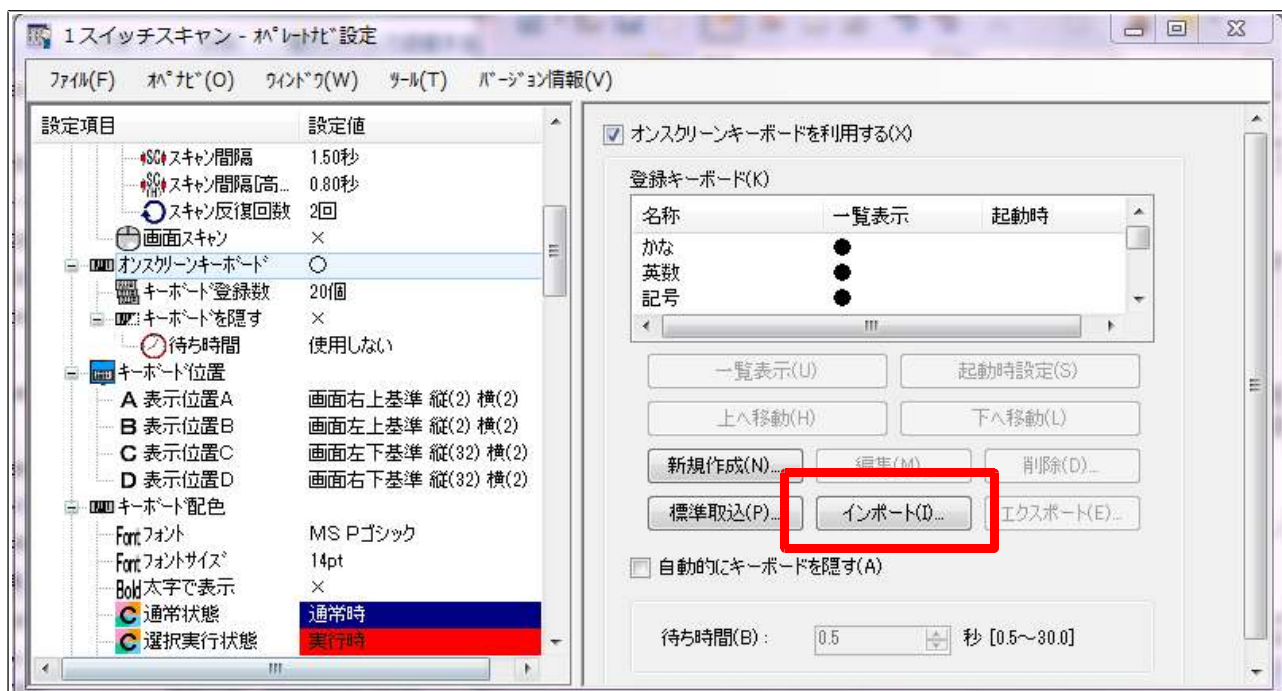
**【思考ルーチンの強さ】**  
次の一手問題集で棋力を調べてみました。Ver2.2.00 (2007/02)  
使用コンピュータ：CoreDuoT2500(2GHz) 1024MB  
レベル：上級(制限時間なし)

- (2) ダウンロードファイルのプロパティのブロック解除  
ダウンロードファイル「kshogi2800.zip」ファイルのプロパティを開き、「全般」タブの「ブロック解除」をクリック。
- (3) 解凍  
解凍先を「ドキュメント」フォルダー（Win7 の場合マイドキュメント）にして解凍する。  
解凍先に「K-Sogi」というフォルダーができる。
- (4) ショートカットの作成  
「K-Sogi」フォルダーの「K-Shogi.exe」をデスクトップにマウス右ボタンでドラッグ&ドロップし、デスクトップ上にショートカットを作成する。
- (5) ショートカットの名前変更  
ショートカット名はできるだけ簡潔な方がオペナビの「AP 起動」キーボード上では見やすいため、「k-Shogi.exe ショートカット」を「K 将棋」と名称を変更する。

これで、デスクトップ上のショートカットアイコンをクリックすれば将棋ソフトの利用は可能です。

## 2. オペナビの準備

- (1) KB のエクスポートファイルのダウンロード。  
「K 将棋」KB 用エクスポートファイルの「kshogi.kbz」をデスクトップにダウンロードする。
- (2) ダウンロードファイルのプロパティのブロック解除  
ダウンロードファイル「kshogi.kbz」ファイルのプロパティを開き、「全般」タブの「ブロック解除」をクリック。
- (3) KB のインポート  
オペナビ設定を起動し、オンスクリーンキーボード項目の「インポート」ボタンをクリックし、デスクトップの「kshogi.kbz」を指定



#### (4) アプリケーションの設定

オペナビ設定のアプリケーション項目の「追加」ボタンをクリックし、デスクトップの「K将棋」ショートカットを選択する。

後はオペナビ設定を保存し、改めてオペナビを起動すればOKです。

### 3. 不要ファイルの整理

ダウンロードした圧縮ファイルやショートカットは以降利用しません。整理のため削除してください。

- 「kshogi2800.zip」圧縮ファイル
- 「K将棋」ショートカット
- 「kshogi.kbz」エクスポートファイル

### 4. 利用前の設定や確認

#### (1) K-Shogi の表示の設定

K-Shogi の初期設定では、「評価値グラフ」を表示する設定となっており、KB が対応アプリケーション設定していても自動でKB 切り替えされません。

メニュー「表示」>「評価グラフウィンドウ」のチェックを OFF に設定してください。



- (2) 新規対局開始での設定  
 「新規対局」で次の主な設定をしてください。
- 先手が自分か相手か
  - 自分の名前
  - コンピュータ相手の時、その強さ

ネットワークで相手を選ぶこともできるようですが、設定方法等は自分で勉強して利用してください。

- (3) オペナビのKBのジャンプ位置

「K将棋」KBは「Jump位置1」を利用しています。

**Jump確認** を選択したとき、左図の位置にマウスが移動することを確認してください。ずれている場合は、「Jump位置1」の再設定が必要です。  
 (APタイトルの高さを設定変更している場合注意)



## 5. キーボードの操作

- (1) 対局開始

**対局開始** 新規に対局する。新規対局画面の設定が完了したら **OK** を選択。

- (2) 盤にマウスポインタを移動

**8二** **2二** **2八** **8八** を選択して、マウスポインタを盤面の指定位置に移動。新規対局時の最初に1回は選択が必要です。

- (3) 駒の移動



マウスポインタのある駒を「持つ」「一つ上に移動」「打つ」を行う。  
 桂馬などで選択すると駒を持つ状態になります。



「歩の移動方法」以外は、  
 「駒を持つ」>「マウスの移動」>「駒を打つ」  
 の順に駒を移動させます。

- (4) 持ち駒を打つ

持ち駒は、**持ち駒へ** で持ち駒位置へ移動した後、**駒を持つ** で駒を持ち上げ、その後に必要な位置に移動し駒を打ってください。

以上